

学校紹介(小学校) こん

東秋留 小学校

本校の特色は、①「通常学級」と「ひまわり学級」との相互交流および特別支援教育の推進。②地域の豊かな自然と文化と人材を生かした地域に根ざした教育の推進です。



宮崎 慶一校長

教育目標は「人間尊重の精神をもとにして、豊かな人間性と未来を拓く学力を持った児童を育てる」を柱とし、「豊かな学び」「すこやかな体」「ひろい心」を設定しています。

○学校経営方針

1. 児童にとって健康で楽しく生きがいのある学校(学級)づくりの推進
2. よくわかる楽しい授業の推進
3. 学校と地域社会と家庭とが心と手をむすび、連携を密にした教育の推進

一人ひとりの個性に応じた指導を進め、どの子ども「自分のクラスっていいな」と心の居場所をつくり、「いいな体験」を通して確かな学力や基本的な生活習慣を身につけるために実践を深めています。特に、学校と家庭と地域とが密接に連携をとり特別支援教育を進めています。

今年度は文部科学省の指定「人権教育総合推進事業」の実践研究の一翼を担い、また、東京都人権擁護委員会連合会の「花いっぱい運動」。あきる野市の研究協力校の指定を受けて「特別支援教育」の研究を進めています。さらに、中央公民館主催の「家庭教育学級」をPTAと連携して取り組みます。

○副校長：坂本 満弘

多西 小学校

開校132年の多西小学校は、歴史ある郷土と豊かな自然に抱かれ、地域や保護者の方々のご支援をいただきながら、「一人ひとりがいきいきと学び合う、明るい学校」を目指します。



堀部 朋良校長

教育目標

- 心豊かでおいやりのある子
- ねばり強くやりぬく子(平成17年度重点目標)
- 明るく元気な子

経営方針

- 基礎を培い変化を生かす。
- 方策1：子ども中心の教育を推進する。
- 方策2：授業改善に努める。
- 方策3：学校・家庭・地域の役割の明確化と連携を図る。

本年度、多西小学校は、「東京都情報モラル教育実践モデル校」として、情報モラルに関する効果的な指導法の調査研究に取り組みます。さらに、「ねばり強くやりぬく子」を重点目標として掲げ、その実現のために、算数科少人数(T.T)指導に2名を配置し授業改善を推進し、さらに5名の教員補助員を算数・国語に導入して基礎基本の徹底を目指します。また、児童指導補助員・図書館補助員等を活用して授業環境の向上を図るとともに、生活指導推進補助員を配置して効果的な生活指導の推進を図ります。

○副校長：渡部 雅彦

南秋留 小学校

本校は今年、開校して32年目を迎え、昨年度(平成16年度)は創立30周年行事を行いました。その記念として地域・保護者・学校が一体となりピオトープを完成させ、盛大な記念式典が行われました。



岩井 克昭校長

- 1 児童が毎日喜んで登校する学校
- 2 教職員が自分の力を十分に発揮できる学校
- 3 保護者が安心して子どもを任せられる学校
- 4 地域の人が、他に誇れる“おらが学校”

本校は、市の一番南側にあり、秋川と加住丘陵を目の前に臨む自然環境に恵まれた学校です。一方、急速な宅地化により児童数が増加(665名)し、市内最大規模の学校でもあります。近くの田んぼを借りて、5年生は30年来「米作り」に取り組んでおり、収穫祭では協力者の方をお招きし、保護者・子ども共々感謝の意を表しています。

また、昨年、創立30周年記念事業で完成したピオトープは、今年より本格的に学習で活用していきます。自然溢れるピオトープにどんな生き物が棲みつき、どんな植生になっていくか楽しみです。

○副校長：浅原 伸行

草花 小学校

川と丘陵に囲まれた草花小学校。572名の子どもたちが学び・育ち合う中で、将来に生きて働く力と最高の6年間の創造を目指して励んでいます。地域の支えが嬉しい。



板花 七郎校長

◎子どもの生きる力の育成

- 未来に向かって最高の6年間を生み出す
- 教員の自律性と同僚性を高める
- 基礎学力の充実と定着を図る
- 支援と指導のバランスのとれた教育活動

旧秋川6番目の開校。昨年、30周年記念事業。改めて学校と地域の絆の深さを実感。また、平成15年、保護者に向け育てたい子ども像の意識調査を実施。「思いやり、芯のある言動の人」の結果から、教育目標の改正に着手。「海のように大きな心」・「太陽のように輝く自分」・「大地のようにたくましく」の目標を設定(自・他尊重と自己決定)。

○副校長：山田 順子

増戸 小学校

校庭正面にそびえる大木「香椿木」(ちゃんちんぼく)のように、大きく伸びよう!個性を生かそう!強く根をはろう!をめあてに、子どもの良さを伸ばし、地域に根ざした教育の推進に努めています。



宮澤 正夫校長

○経営方針

- 「信頼に応える学校」
- 「伝統の継承と新しい時代への対応」
- 「基礎基本を大切にされた教育の推進」

○めざす学校像

- 「互いの良さを認め合い、共に育てる、信頼される学校」

校庭の「香椿木」は、芽吹きの際の若葉が濃い紅色で、しだいに淡い紅色になり、やがて、若葉色から緑に変わる個性のある樹木です。昭和30年代に「増戸小の子ども達も個性豊かな子どもになるように」の願いが込められて植えられました。本校の良さ伝統を継承しつつ、児童一人ひとりの良さや可能性を見つけ励まし、それが発揮できる教育活動と二期制の導入のもと、基礎・基本を大切にされた教育を推進していきます。

○副校長：土屋 正登

五日市 小学校

本校では全教職員の英知を集結して『知・徳・体・芸・勤』のバランスのとれた児童の育成を全力で目指します。



榎本 茂校長

- 「知」：基礎的・基本的な内容をしっかり教えます。
- 「徳」：道徳で学んだことを、日常生活で実践できるよう指導します。
- 「体」：体育の時間の充実と日常的な体力作り活動を盛んにします。
- 「芸」：歌唱・朗読・絵画等の日常の活動を盛んにします。
- 「勤」：勤労奉仕活動を盛んにし、働く喜びを感じることができるようになります。

開校明治6年。校長室には初代からの校長先生の写真がずらりと並び、五日市小学校の発展を静かに見守っています。また、校庭には由緒ある木々が茂り、校庭に響き渡る鼓笛隊の演奏は、47年の輝かしい歴史を表しています。輝く伝統に支えられ、地域に愛される落ち着いた学校です。

○副校長：千代谷和紀

学校紹介(中学校) こんな学校を目指します。

秋多中学校

「いのち」を、生命だけでなく人権なども含んだものにとらえ「いのち尊ぶ教育」を推進しています。また、「生徒と教師が共に燃えて感動できる学校」を目標に日々活動しています。



丹治 充校長

- 命の尊さを深く自覚し、たくましく生き、進んで社会の発展につくす人育成を目指す。
- ゆたかな心を持つ
- たくましい体をつくる
- しなやかな個性を磨く

「学力の確実な定着を図り個性を伸ばす秋多中学校」を目指す学校像とし、平成16年度・17年度の東京都授業改善研究推進校として授業改善に取り組んでいます。今年度は、英語の全学年、1・2年の数学、2・3年の国語で少人数指導を導入しました。また、長期休業中・定期試験前等を中心に補充教室を行っています。

○副校長：岩下 伴雄

東中学校

朝の読書活動や家庭学習記録の毎日点検と剣道部・バドミントン部の関東大会6年・9年連続出場、吹奏楽部の都コンクール5年連続金賞受賞等、正に文武両道の学校です。



北原 俊幸校長

- ◎教育方針
 - 落ち着いた学び、活動する校風の確立
 - 確かな基礎学力の定着と学力の向上・・・真に実力のある生徒の育成
 - 数ある情報を主体的に選択し、価値ある方向に生かす(智慧)の育成(開発)
 - 自然と他者を思いやる心の育成
- ◎経営方針
 - 「挑戦と継続」
 - 仲間を増やす努力。
 - 個性が発揮できる環境づくり。
 - 有言実行の習慣化。

東中は、剣道部・バドミントン部の関東大会連続出場。吹奏楽部の都コンクール金賞連続受賞と文武両道の学校です。この良き伝統の上に、さらに「挑戦、継続」の名の下に、教職員は、真剣に学び、常に身体を鍛え、思いやりのある生徒の育成を続けます。生徒一人ひとりが輝く学校を目指します。生徒が「東中がいい」と誇りを持てるような教育活動を展開します。

○副校長：神林 真

西中学校

市のほぼ中央に位置し、周囲を、都立あきる野学園、(西多摩療育支援センター)、旧都立高校、富士通として野菜やクワの畑に囲まれた、創立27周年を迎えた学校です。



新井 俊数校長

- 「本気」「元気」「根気」、思いやりと規律と活力のある学校を目指す。
- コスモス街道の整備やあきる野学園との交流を通じた思いやり教育の実践
- 学力の基礎・基本、生活の基礎・基本、心の基礎・基本の充実

すばらしい教育環境の中で、生徒は知・徳・体をバランスよく学んでいる学校です。学習では各教科はもちろん朝読書・選択を真剣に取り組んでいます。心の育成面では、行事や総合的な学習の時間を中心に、コスモス街道の整備や障害のある人との交流・体験を通して「思いやりの心」をしっかり学んでいます。健康・体力の面では、多くの部活動が東京都のトップレベルにあり、体育大会や行事に燃え、生徒は主体的に活動しています。

○副校長：清水 和彦

御堂中学校

- (1) 少人数授業を通して生徒一人ひとりの習熟の程度や興味・関心等に応じたきめ細かな学習指導を行い基礎的学力の定着と向上を図るよう指導する。
- (2) スクールカウンセラーと協力して教育相談活動を行い、心のケア及び不登校生徒への指導を充実させている。
- (3) 総合的な学習の時間で自ら課題をみつけ学習する活動を通して、情報を読み取る力、まとめる力、考える力、発表する力等を育成し、多面的なものの見方・考え方を身につけられるよう指導する。



石澤 輝安校長

- 自ら考え実行する生徒
- 理想に向かって努力向上する生徒
- 美しい心たくましい体の生徒を実現するためにつぎのことを重点目標に取り組みます。
- (1) 基礎的・基本的な学力の向上
- (2) 特色ある教育活動の推進

本校は、草花丘陵を背に、南に平井川、西に遠く奥多摩の山々を望む自然環境に恵まれた地域に、昭和58年に開校し、23年目を迎える市内一番新しい中学校です。保護者、地域の方々は本校に大きな期待を寄せ、良い学校づくりをしようと協力的です。

生徒は、明るく素直で授業や部活動に熱心に取り組んでいます。生徒会では「あいさつは御堂の顔」をスローガンにして取り組んでいます。生徒があいさつする明るい声が響いています。

○副校長：渡辺 暁

増戸中学校

本校は、「夢を持ち続ける人」、「進んで努力する人」、「思いやりのある人」を目指す生徒の理想像として掲げ、保護者や地域との連携のもと、教職員が一丸となって学校教育を推進しています。



熊井 重彰校長

- あきる野市に勤務する教育公務員として保護者や市民から信頼される教職員
- 「開かれた学校」、「危機管理に強い学校」づくりの推進
- 学力の定着・向上(増戸小学校との連携、「授業改善プラン」の充実等)
- 生活指導の改善(規範意識の確立、教育相談機能の充実、生徒会活動の活性化等)
- 適切な事務運営と、快適で安全な教育環境の確立

一小一中の学区であり、生徒は幼い時から慣れ親しみ純粋で家族的な雰囲気です。また、挨拶がとても良くと、来校者や地域から褒められています。7月には、地域の支援をいただき、各学年が2～3日間の「保育体験学習」、「福祉体験学習」、「職場体験学習」を実施します。体験を通して社会性をほぐし、自己の生き方を見つめる機会にしてほしいと考えています。

○副校長：櫻田 正

五日市中学校

本校は、長い歴史と伝統を持ち、地域住民と保護者の期待に応えて育てられてきました。現在もこの伝統を生かし、学校・地域・保護者が三位一体となり教育活動を進めているのが特色です。



中村 宗嗣校長

- 教育目標
 - よく考えて行動する生徒(自律)
 - 進んで協力する生徒(協働)
 - 思いやりのある生徒(共生)
 - 心身ともに健康な生徒(健康・安全)
- 経営目標
 - 心の教育の充実
 - 確かな学力の育成
 - 健康・安全教育の推進
 - 開かれた学校づくりの推進

本校は伝統と歴史と豊かな自然環境に恵まれ、生徒は、充実した中学校生活を日々送っています。勉強(少人数授業等)や部活動、心身障害学級との交流、ガードレール清掃や様々なボランティア活動、活発な学校行事(運動会や音楽会)お祭りへの参加(中学生御輿)等が学校と地域、保護者の協力のもとに行われ、より高い教育効果を上げています。

○副校長：曾我 有二